

思ひ出の千秋公園を語る会with写真展

平成19年11月3日（土）、千秋公園および秋田県生涯学習センター別館「ジョイナス」で『思ひ出の千秋公園を語る会with写真展』が行われ、約50人が参加した。

展示した写真は70点。どれもが懐かしい思ひ出深いもので、参加者は昭和の千秋公園にタイムスリップしたかのようであった。



ジョイナスに展示した思ひ出写真



二の丸(売店横)に展示した思ひ出写真



ボランティアの説明を受けながら散策中の参加者

第1部 園内散策

午後2時から3時までは園内散策。朝の激しい雨で心配されたが、時折晴れ間も差すなか、「久保田城址歴史案内ボランティア」の案内をうけながら、紅葉真っ盛りの園内を散策。

多くの方から提供を受けた「昭和の思ひ出写真」は、ジョイナスに70点全てを展示したほか、園内の二の丸、動物園跡、本丸の佐竹義葬公銅像前の3カ所に厳選した写真を各数枚展示。参加者は、懐かしいそれぞれの思ひ出に浸った。

また、知っているようで、知らないことも多い千秋公園＝秋田藩佐竹氏20万石の久保田城跡。ボランティアの説明を受け、歴史の重要性を深め、新たに公園に対する愛着も。

久保田城址歴史案内ボランティア

佐竹史料館（電話018-832-7892）を拠点に活動。

案内は、4月初旬から11月4日の土・日・祝日や国体期間。平日は、依頼があれば対応している。





「んだんだこうだったなあ」



一般の方も懐かしそうに見入っていた

第2部 トークライブ

第2部は、午後3時半から、協議会の佐々木副会長（秋田市広小路商店街振興組合理事長）のあいさつで、あべ十全さんのトークライブがスタート。提供された写真の中から十全さんがチョイスした「思ひ出のひとつま」を素材として、司会の菅原園子さんとのタッグで会場との軽妙な秋田弁でのやりとりが繰り広げられた。





主催者あいさつをする
佐々木副会長



「思ひ出」を熱弁・秋田弁の十全さん



トークライブ会場



「思ひ出」を語る参加者